

船舶事故調査報告書

平成23年10月27日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）

委員 庄 司 邦 昭

委員 石 川 敏 行

事故種類	衝突
発生日時	平成23年1月26日 02時30分ごろ
発生場所	沖縄県糸満市喜屋武埼南南東方沖 喜屋武埼灯台から真方位163° 73.0海里（M）付近 （概位 北緯24° 55.0′ 東経128° 04.0′）
事故調査の経過	平成23年2月4日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	A 漁船 徳栄丸、11.72トン ON2-0979（漁船登録番号）、個人所有 11.95m（Lr）×2.90m×1.30m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数120、昭和55年11月27日 B 漁船 第一隆清丸、9.7トン ON2-3081（漁船登録番号）、個人所有 11.45m（Lr）×2.88m×1.19m、FRP ディーゼル機関、435kW（連続最大）、平成5年8月2日
乗組員等に関する情報	A 船長A 男性 55歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和57年10月5日 免許証交付日 平成20年4月22日 （平成25年4月21日まで有効） B 船長B 男性 36歳 一級小型船舶操縦士 免許登録日 平成15年9月5日 免許証交付日 平成20年7月22日 （平成25年9月4日まで有効）
死傷者等	なし
損傷	A 左舷中央部外板に破口、機関及び航海計器に濡損 B 船首船底部に破損
事故の経過	A船は、船長Aほか1人が乗り組み、喜屋武埼南南東方沖において、早朝からのソデイカ漁を再開する予定で平成23年1月26日02時00分ごろ、マスト灯、両舷灯及び船尾灯を表示したほか、作業灯を点灯して船首を北方に向けて漂泊し、船長Aが周囲に他船の灯火が見えないことを確認したのち、操舵室後部に備えた寝台で就寝した。 船長Aは、衝撃で目覚め、A船の損傷及びB船の状況を確認した。

	<p>B船は、船長Bほか3人が乗り組み、マスト灯、両舷灯及び船尾灯を表示したほか、接近する他船がB船に気づきやすくするために操舵室上部に船首方を向けた作業灯を点灯し、喜屋武埼南南東方沖の漁場に向けて約4.5ノットの速力で自動操舵により東進した。</p> <p>B船は、中央部に上部と下部とに分かれた操舵室を配置し、下部の操舵室からの見張りでは、船首部により船首方を見通すことができないので、操舵室の踏み台に立って上部操舵室から見張りを行っていた。</p> <p>船長Bは、単独で操船に当たり、操舵室の踏み台に乗って上部操舵室から見張りを行っていたが、前路に他船がいなかったため、船尾甲板に移動して漁具の整備に当たり、約30分間、見張りを行わずに航行した。</p> <p>船長Bは、漁具の整備を終えたのち、操舵室で船尾方を向いて踏み台に座った体勢で航行を続け、見張りを行っていなかったため、前路で漂泊中のA船に気づかず、02時30分ごろA船の左舷外板とB船の船首船底部とが衝突した。</p> <p>A船は、衝突後、浸水して横倒しとなって半沈没状態となった。</p> <p>B船は、船長Aほか1人をB船に移乗させて沖縄県那覇市泊漁港に帰港した。</p> <p>A船は、手配した船により糸満市糸満漁港にえい航されたのち、解体された。</p>	
<p>気象・海象</p>	<p>気象：天気 曇り、風向 北東、風力 3、視界 良好 海象：うねり 約1.5～2m</p>	
<p>その他の事項</p>	<p>A船は、6Mレンジとしたレーダーで4Mのガードリング（他船などの映像が一定の距離に接近したときに警報を発するよう設定した距離環）を設定していたが、雨雲の映像に反応して警報を発するので、感度を下げていた。</p> <p>船長Bは、レーダーは作動させていたが、見ていなかった。</p>	
<p>分析</p>	<p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>あり なし なし</p> <p>A船は、喜屋武埼南南東方沖で漂泊中、船長Aが、操舵室後部に備えた寝台で就寝し、見張りを行っていなかったことから、接近するB船に気づかず、B船と衝突したものと考えられる。</p> <p>B船は、喜屋武埼南南東方沖を東進中、船長Bが、前路に他船はいないものと思い込み、見張りを行っていなかったことから、漂泊中のA船に気づかず航行し、A船と衝突したものと考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、夜間、喜屋武埼南南東方沖において、A船が漂泊中、B船が東進中、両船が見張りを行っていなかったため、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>	
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な見張りを行うこと 	